

北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所
記者発表

発表日
平成28年7月4日

金大生が初見学、ICT活用の港湾工事

金沢港湾・空港整備事務所と日本埋立浚渫協会北陸支部では、学生等を対象とした港湾工事の見学会を毎年開催しております。

今般、最新のICT技術を活用した港湾工事や、港湾整備事業の必要性について説明を行う現場見学会を開催します。

金沢港では、船舶の大型化に対応するため、港内の土砂を取り除く浚渫工事を行っており、本工事では、国土交通省が進めている施策「i-Construction」の一つである、ICT技術を搭載したポンプ浚渫船を使用しております。（別紙－1参照）

日時 平成28年7月8日（金） 15：00～

見学場所 ポンプ浚渫船（金沢港五郎島ふ頭に接岸。別紙－2参照）

見学者 環境都市工学科 4年生 13名

共催 （一社）日本埋立浚渫協会 北陸支部

その他 天候により一部又は全部が中止となる場合があります。

取材をされる方は、14時50分までに集合場所（別紙－2参照）までお越し下さい。

見学場所は「海上における人命の安全のための国際条約（SOLAS条約）」の都合上、立入者・車両を事前登録する必要があります。**7月6日（水）**までに申込書（別紙－3）の提出をお願い致します。

発表記者クラブ
石川県政記者クラブ 専門紙

問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 副所長 丸山 企画調整課長 <small>にしじょう</small> 西條 TEL：076-267-2241

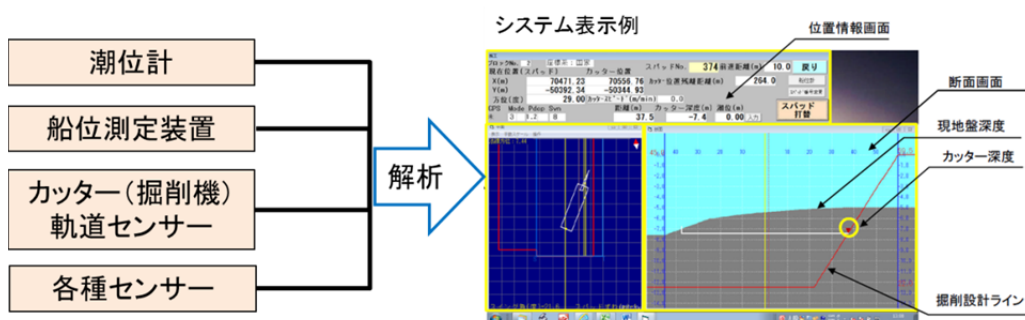
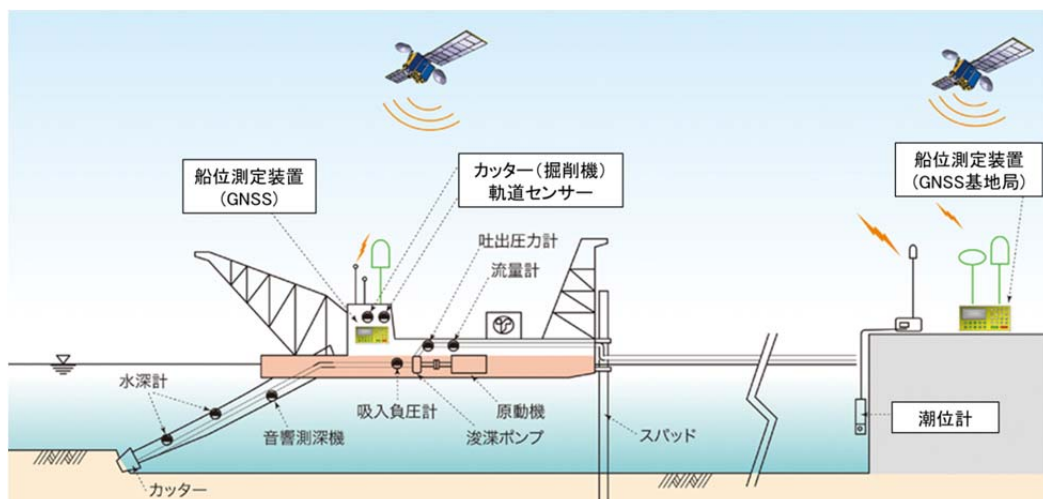
ICT を活用したポンプ浚渫船の概要

国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction（アイ・コンストラクション）を進めています。

本工事で使用するポンプ浚渫船には、i-Constructionの一環として船位測定装置や潮位電送装置、掘削軌跡表示装置などから得られたデータを解析し、リアルタイムで施工状況が確認することが出来るポンプ浚渫船施工管理システム（ICT技術）が搭載されています。

これにより、これまで熟練者が計器等をもとに経験や勘を頼りに操作をしていたものが、運転状況を容易に把握することでき、高精度及び高効率な作業が可能となっています。

○システム概要図



(参考) 工事概要

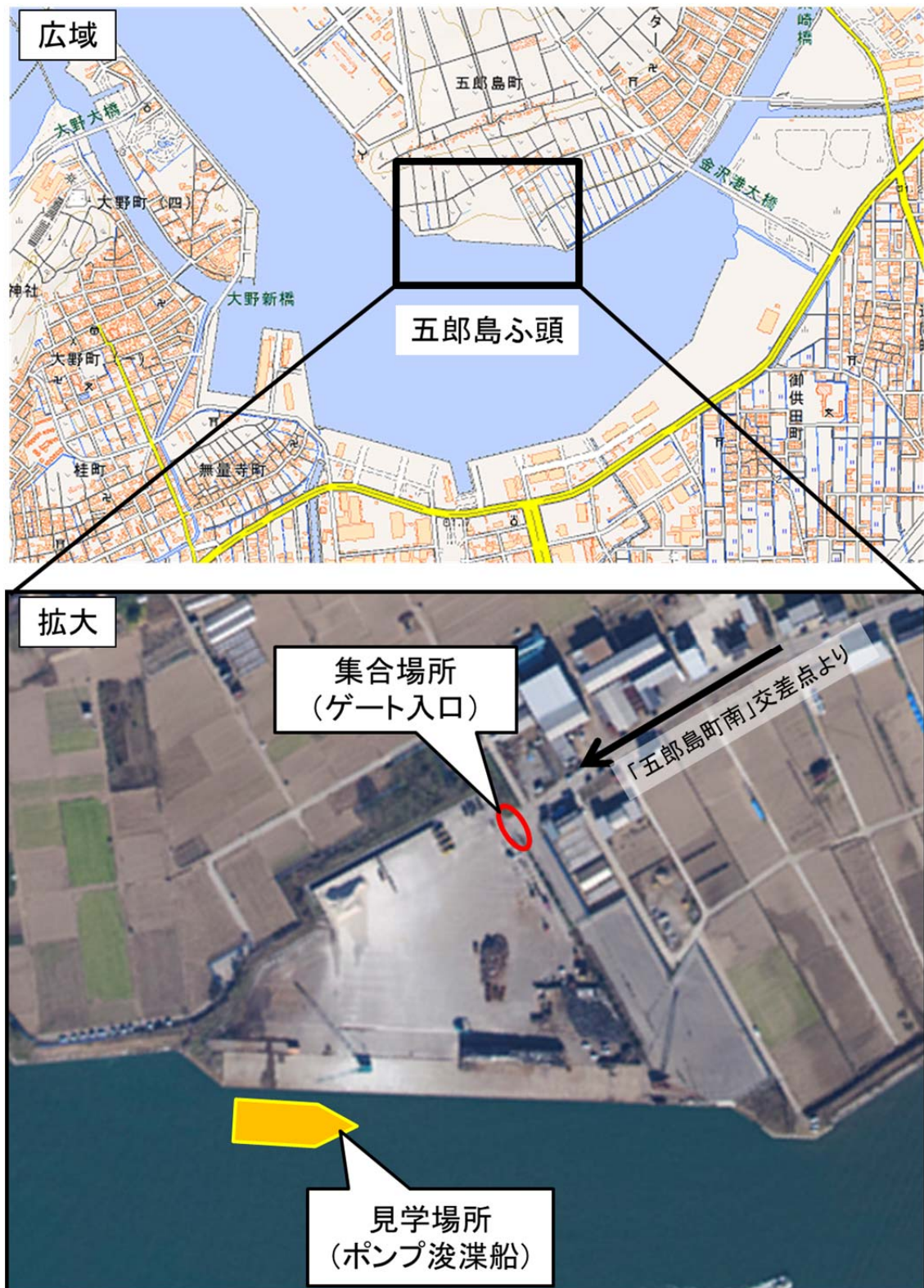
工事名：金沢港（大野地区）航路（-13m）浚渫工事

受注者：東洋建設株式会社北陸支店

工期：平成28年3月24日～平成28年10月17日

内容：港内浚渫約11万m³、排砂管設置・撤去約1km、他

見学場所・集合場所案内図



広域図は国土地理院 Web（地理院地図）をもとに作成

北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 企画調整課 宛

FAX 番号 076-267-9019

「金沢大学現場見学会（7／8）」

取材申込書

会社名	
氏名	※立入される方の全員の氏名（フルネーム）を記載願います。
車両	ナンバー： 車種・色： ※制限区域内に徒歩で立ち入る場合は、記載不要です。 （入口からポンプ浚渫船までは、約200m）
連絡先	※当日連絡が可能な連絡先（携帯電話等）を記載願います。

※7月6日（水）までに申し込みをお願い致します。なお、当日の、立入者・車両が決まっていない場合は、予定される方全員の氏名や車両等を記載頂き、「その内〇名立入予定」と記載願います。

また、入場する際、ご本人であることを確認するため、写真付きの身分証明書や社員証の提示、手荷物・車両の検査をする場合がございますので、ご理解願います。